

IYO BANK

伊予銀行

第5回 伊予銀行決算説明会 & 特別講演会

役員 新体制

代表取締役	会長	麻生	俊介
代表取締役	頭取	森田	浩治
代表取締役	専務	脇口	倉重
代表取締役	専務	阿部	紀夫
常務取締役		白石	友一
常務取締役		十河	嘉彦
常務取締役		兵頭	正



当行のプロフィール

本店所在地	愛媛県松山市	
創業	明治11年3月15日(第二十九国立銀行設立) < 127周年 >	
創立	昭和16年9月1日 < 63周年 >	
資本金	209億円(発行済株式総数 323,775千株)	
従業員数	役員 19人、職員 2,649人(臨時を除く)	
拠点数	国内 150か店(出張所7を含む)、海外1か店(香港) 愛媛県118か店、大分県・広島県各6か店、香川県5か店、その他15か店 駐在員事務所2か所(ニューヨーク、上海)	
主要勘定等	預金等(預金 + 譲渡性預金)	3兆9,545億円
	貸出金	2兆8,782億円
	総資産	4兆4,453億円
	純資産	3,130億円
	自己資本比率(国際統一基準・連結ベース)	11.90%

(平成17年3月末現在)

当行が目指す銀行像

愛媛県、さらには瀬戸内圏域の
全ての方々にとって
『存在感NO.1』の地方銀行

当行の経営管理手法

TQC活動21年の実績（昭和59年より）
方針管理、QCサークル活動、提案制度

当行の経営基盤

● 愛媛県を中心とする瀬戸内圏域



< 瀬戸内圏域10県の
経済指標(大阪府除く) >
()内は全国に占める割合

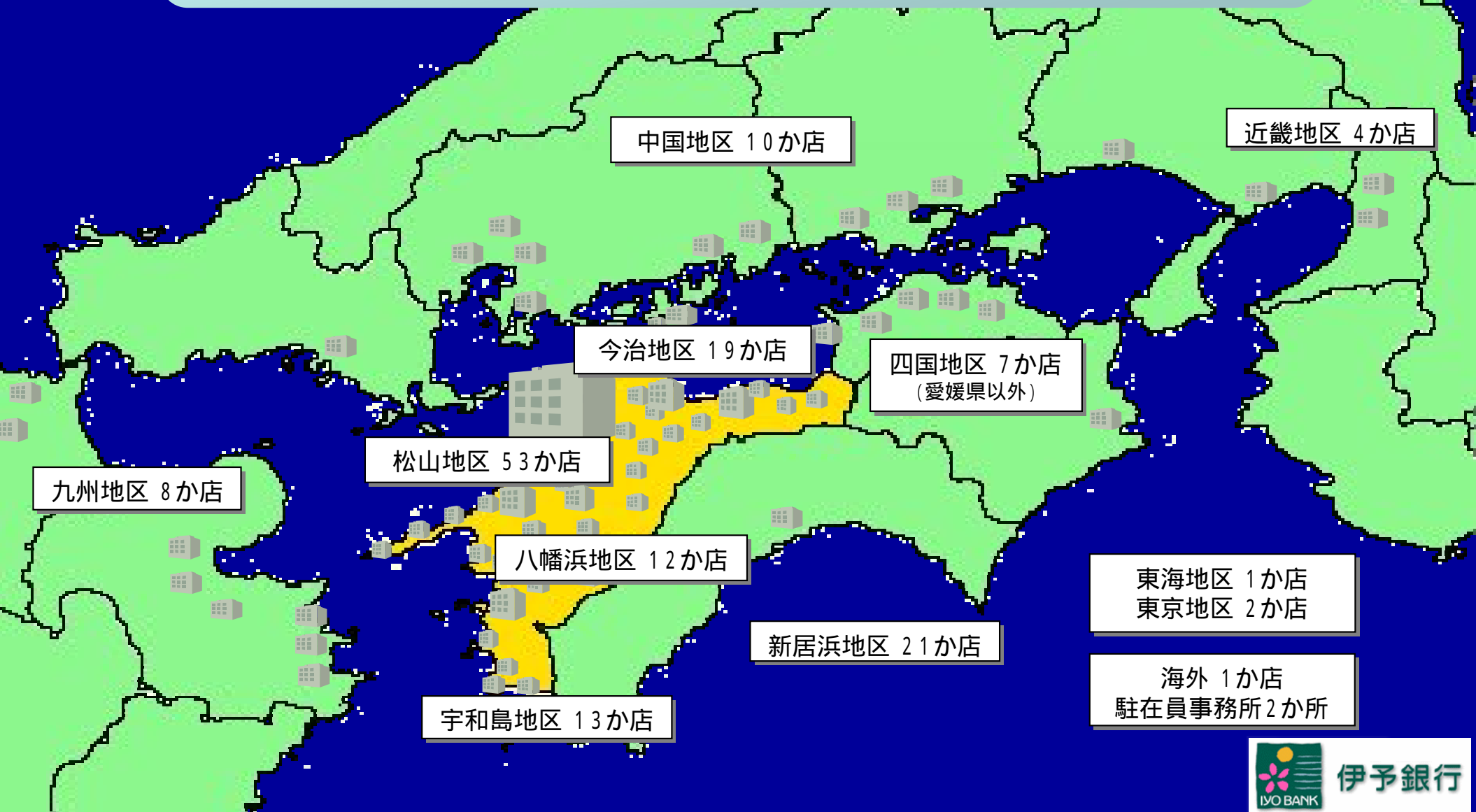
- ・人口 -04年-
22,302,832人 (17.6%)
- ・県内総生産(名目) -01年度-
772,538億円 (15.5%)
- ・製造品出荷額等 -02年-
471,831億円 (17.5%)
- ・新設住宅着工戸数 -03年-
173,271戸 (14.9%)

東京 → 80分 → 松山 → 15分 → 伊予銀行本店 → 10分 → 道後温泉 (日本最古)

(夏目漱石「坊っちゃん」、司馬遼太郎「坂の上の雲」)

当行の経営基盤（店舗網）

- 瀬戸内圏域 11 府県 + 東京・名古屋に店舗配置
地銀 No. 1 の店舗ネットワーク (13 都府県)



平成16年度決算の特色

～増収・増益～

➡ コア業務純益・経常利益・当期純利益(179億円)ともに過去最高

預金等残高 39,545億円、年間増加額 1,479億円、増加率 3.9%
～4兆円の大台まであと一步の水準～

中四国地銀
第1位の増加率

貸出金残高 28,782億円、年間増加額 886億円、増加率 3.2%
～『5,000先開拓』運動等により事業性貸出金が増加基調へ～

中四国地銀
第2位の増加率

信用コスト 60億円と激減 ～前年度比▲78億円～

期末配当1円増 ～16年度通期で6円～

➡ 高い安全性・健全性を示す諸指標

不良債権比率は3.28%まで低下 ～前年度比▲1.15p～

地銀64行中
第6位

自己資本比率(国際基準・連結)は11.90%まで上昇 ～前年度比+0.54p～

地銀64行中
第10位

有価証券評価損益は1,294億円 ～前年度比+122億円～

地銀64行中
第4位

当行の経営指標の特性（16年度）

● 高い健全性、収益性のさらなる向上を目指す

健全性

有価証券含み益(連結)

当行実績：1,319億円
地銀平均：403億円

不良債権比率 (金融再生法)

当行実績：3.28%
地銀平均：5.58%

ROA (コア業務純益 / 総資産)

当行実績：0.71%
地銀平均：0.65%

収益性

預金等平残増加率(過去3年間)

当行実績：6.08%
地銀平均：3.01%

成長性

貸出金平残増加率(過去3年間)

当行実績：5.66%
地銀平均：▲0.10%

コア業務粗利益増加率(過去3年間)

当行実績：1.69%
地銀平均：▲0.28%

OHR (経費 / コア業務粗利益)

当行実績：58.69%
地銀平均：64.43%

ROE (当期利益 / 期首・期末平均自己資本)

当行実績：7.86%
地銀平均：4.78%

地銀平均に対する偏差値
— 地銀平均 = 50
— 当行

(注) ROE計算上の分母には、「資本の部合計」から「株式等評価差額金」を控除したものを使用

今後取組むべき主な経営課題と施策

さらなる「経営体力の強化」のために

➡ 貸出金のボリュームアップによる増収

新規融資事業所『5,000先開拓』運動を展開中

～先数増加にこだわった営業推進により、貸出金増加基調を継続～

➡ 収益性の高い個人融資の強化

住宅ローン ～柔軟な対応のローンプラザ、迅速な審査体制～

カードローン ～「さっと・ほっとカードローン」、独自の審査モデル～

➡ フィービジネスの強化

預り資産の増強への取組み

～窓口営業体制の再構築(専用コーナー9か店)～

➡ 企業再生への取組み強化

「企業コンサルティング部」を中心とした再生ファンドスキーム等
による積極的な再生支援

2003年度中期経営計画 数値目標達成状況

~ Challenge 357 ~

<平成15年4月~平成18年3月>

● 上方修正後の目標達成に向け順調に推移

	15 / 3実績	16 / 3実績	17 / 3実績	18 / 3目標
コア業務純益	291億円	306億円	315億円	320億円以上
不良債権比率	4.82%	4.43%	3.28%	3%以下
業務粗利益経費率	61.4%	59.3%	58.7%	50%台
自己資本利益率	0.78%	5.27%	7.86%	7%以上
当期純利益	16億円	113億円	179億円	185億円

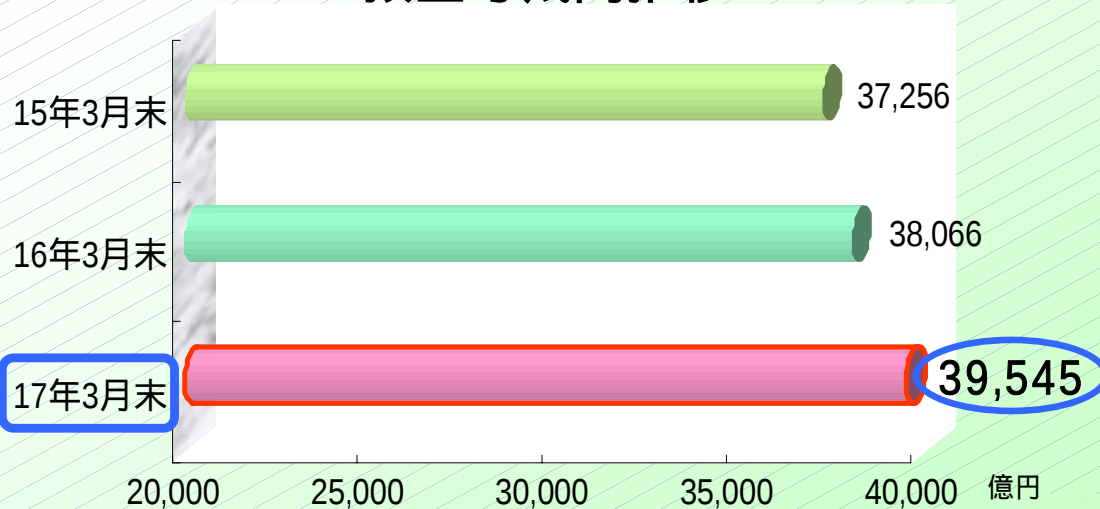
A watercolor illustration of a building with a central tower and a pond in the foreground. The building has a sign on the tower that reads '44 44 44'. The text '平成16年度決算状況' is overlaid on the image.

平成16年度決算状況

ご預金の状況

● 前年比 1,479 億円 (3.9%) と順調に増加

< 預金等残高推移 >

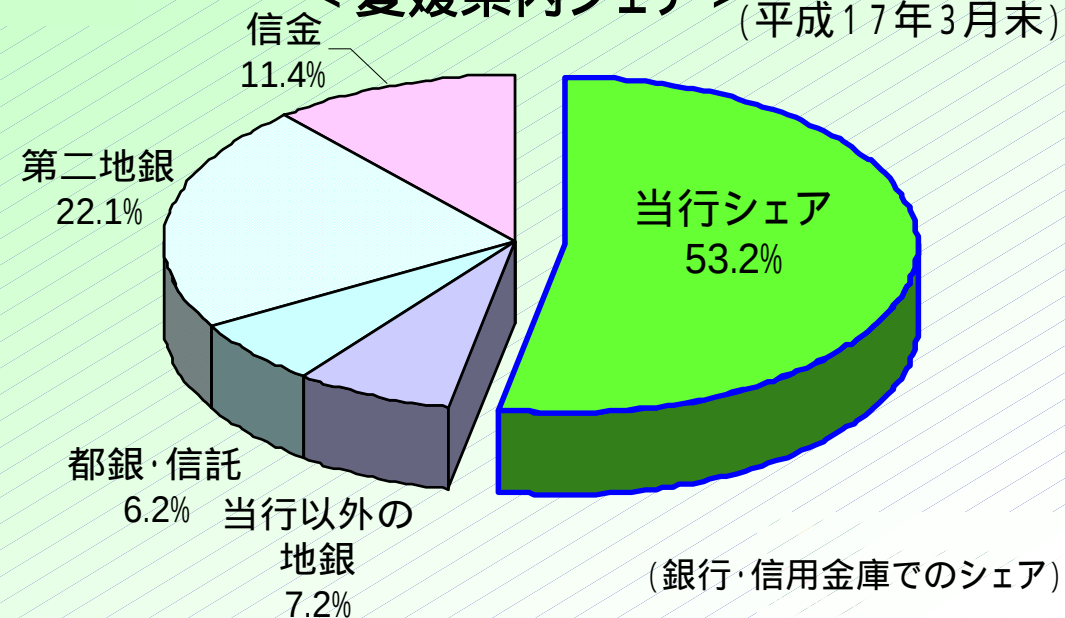


**中四国地銀
第1位の増加率**

4兆円の大台まで
あと一歩

シェアは約 53%

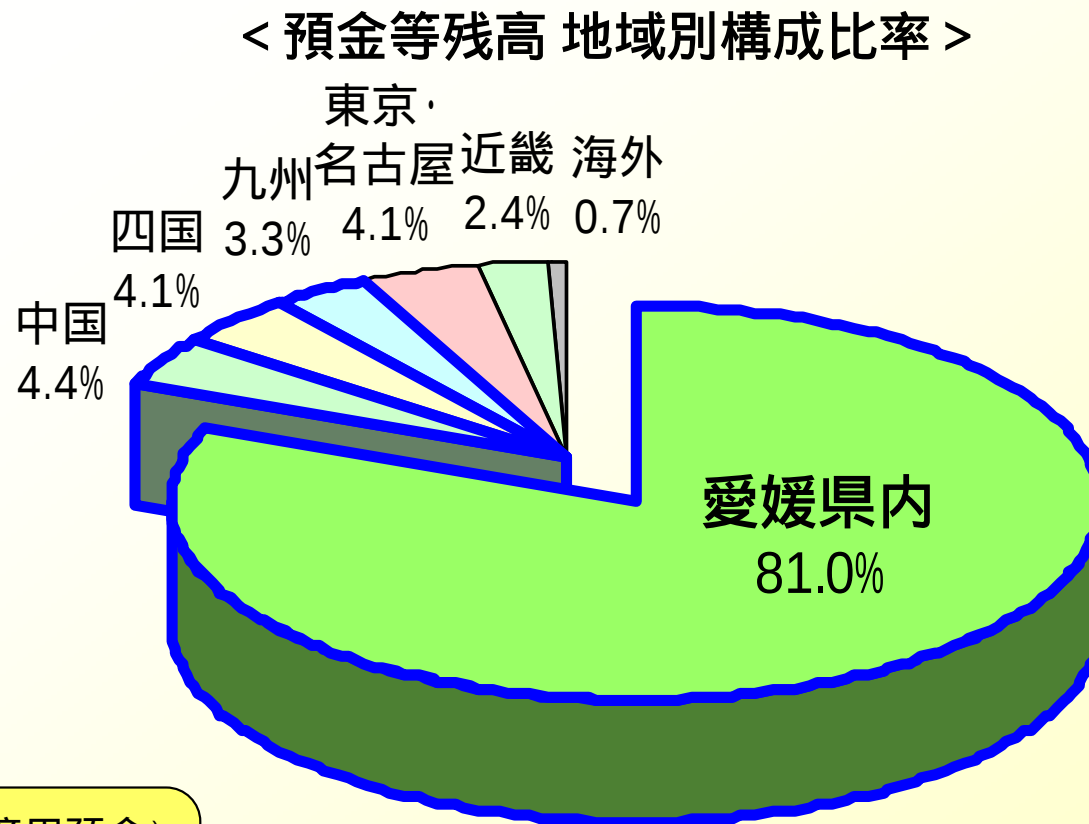
< 愛媛県内シェア > (平成17年3月末)



ご預金の状況

～ ご預金残高の地区別構成比率 ～

● 県内8割、県外2割で愛媛県を中心に安定した調達構造



無利息普通預金(決済用預金)

17年3月末

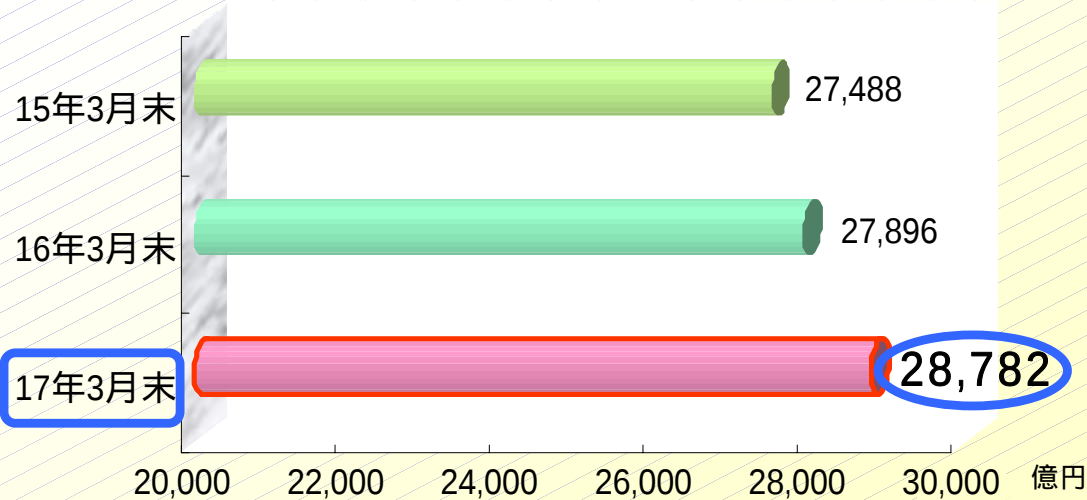
3,902件・978億円

17年3月
3兆9,545億円

ご融資の状況

● 前年比 886 億円 (3.2 %) の大幅増加

< 貸出金残高推移 >

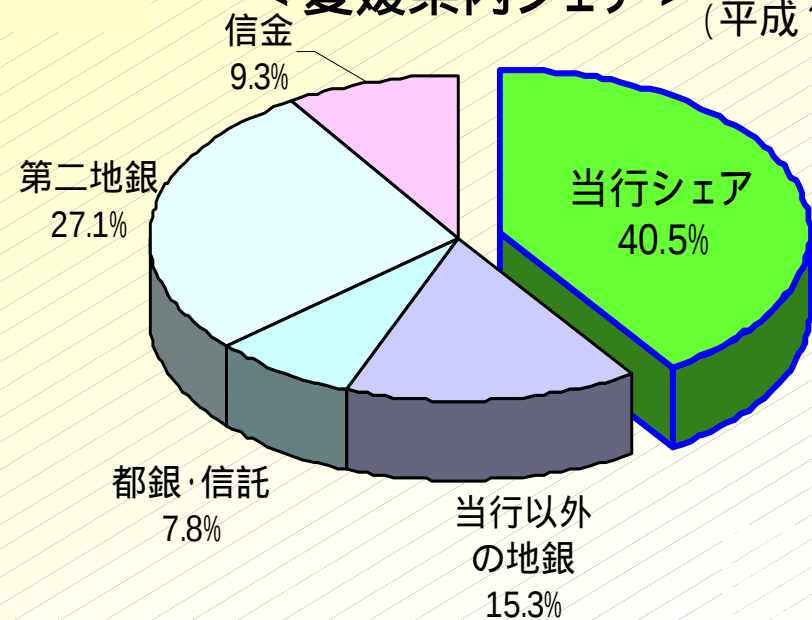


**中四国地銀
第2位の増加率**

『 5,000 先開拓 』 運動
により大幅増加

シェアは約 41 %

< 愛媛県内シェア > (平成17年3月末)

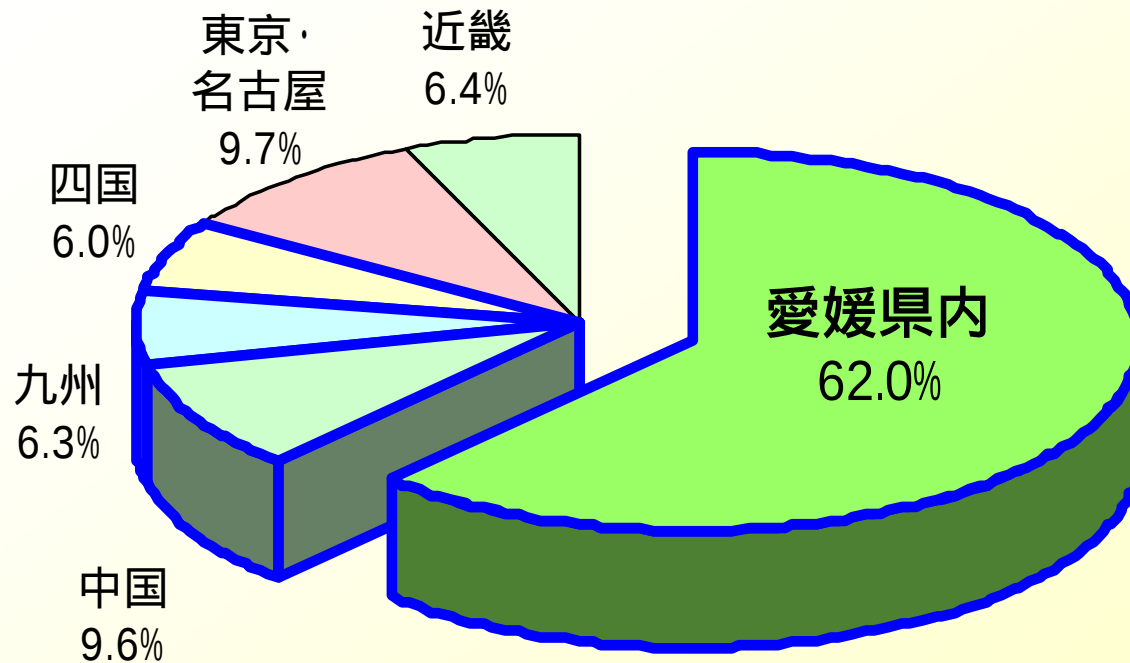


ご融資の状況

～ ご融資残高の地区別構成比率 ～

🔴 広域展開により、幅広いお客さまにご利用いただく

< 貸出金残高 地域別構成比率 >

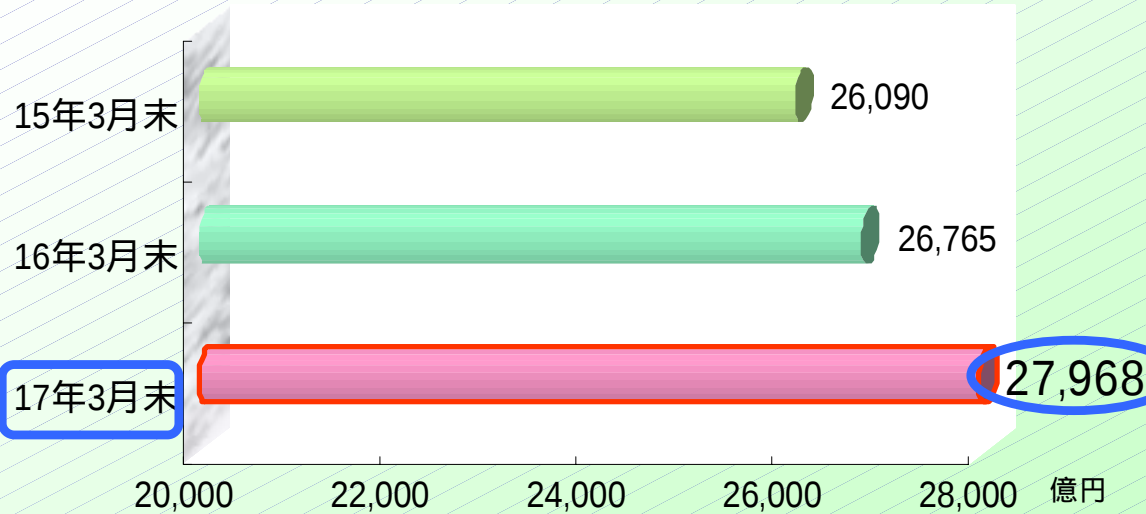


17年3月
2兆8,782億円

個人のお客さまとのお取引状況

● 個人預り資産、個人融資とも順調に増加

< 個人預り資産残高推移 >

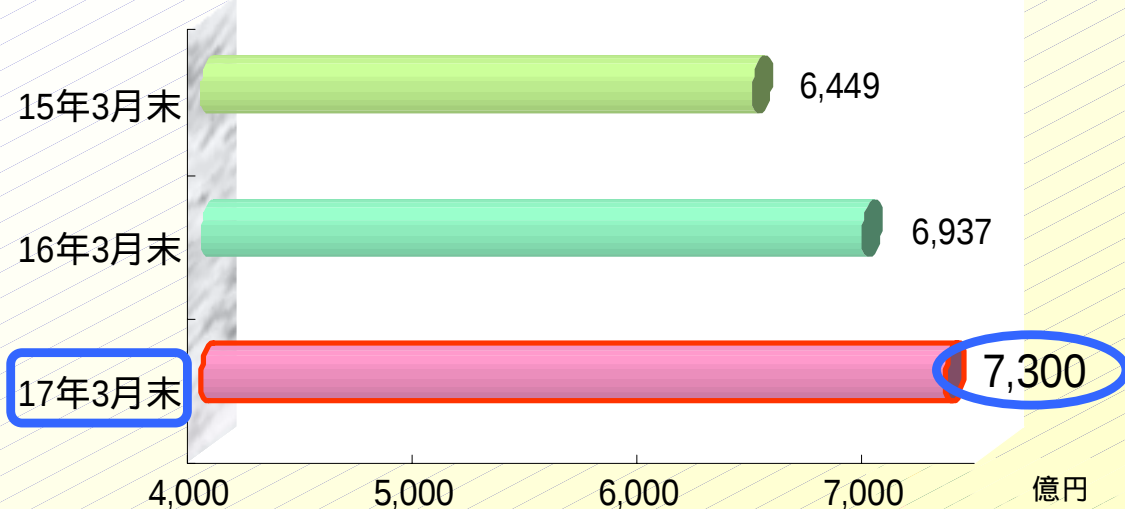


お客さまの運用手段多様化
へのニーズに対応

個人預り資産・・・個人預金 + 国債
+ 投信 + 年金保険

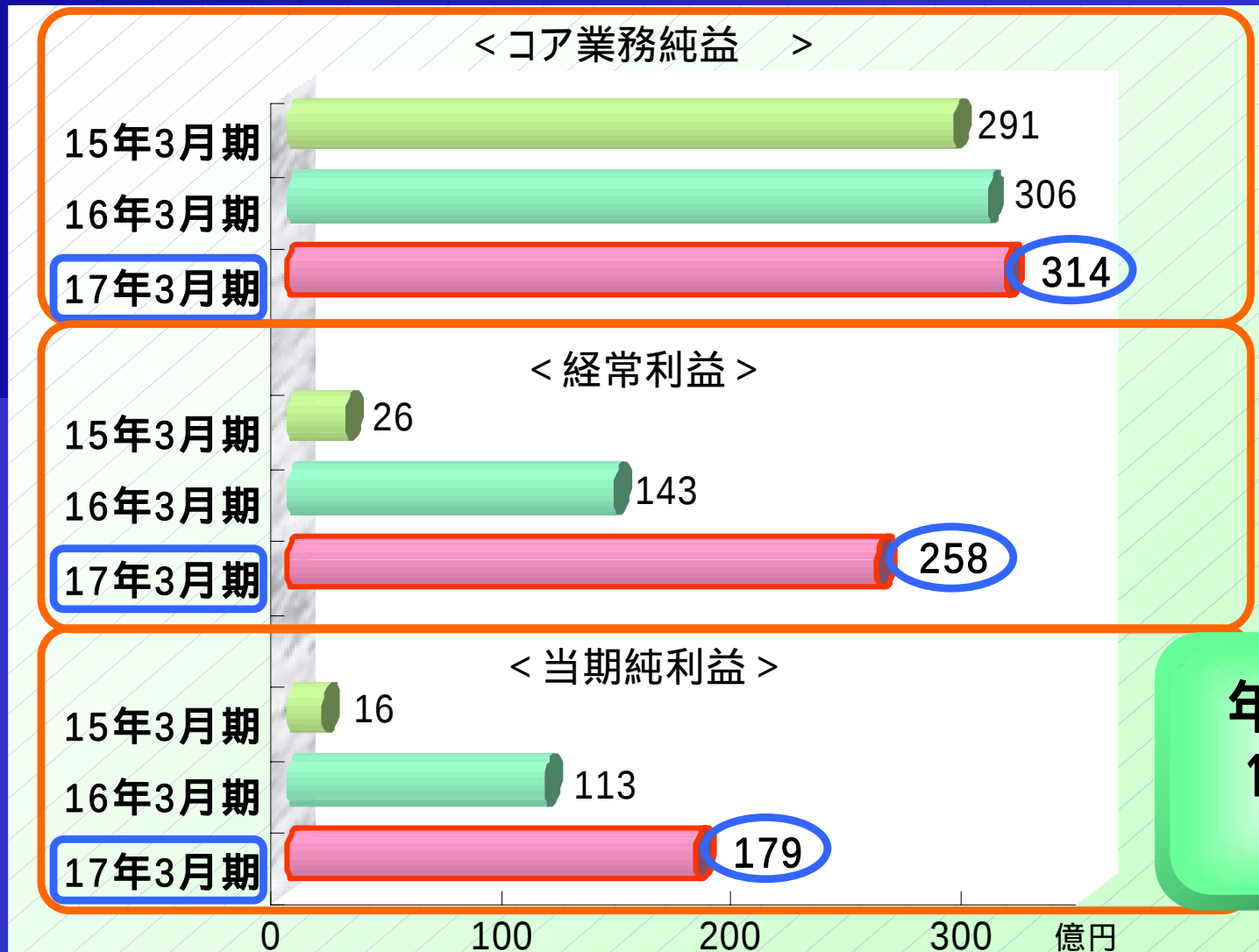
住宅ローンの高い伸びに
支えられ、順調に増加

< 個人融資残高推移 >



利益の推移

● コア業務純益・経常利益・当期純利益とも過去最高



年間配当
1円増配
(6円)

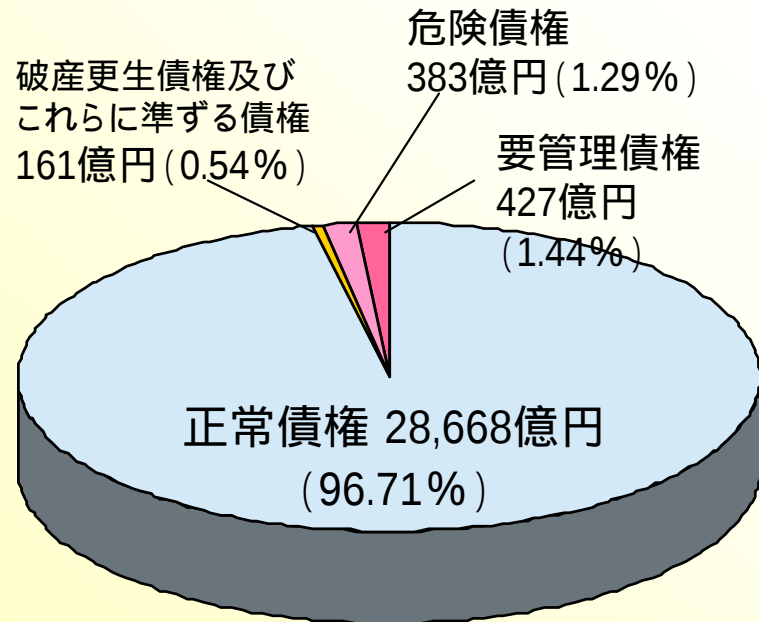
〔 コア業務純益とは、業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を
控除したもので、本来業務からの収益を表す 〕

開示不良債権の状況

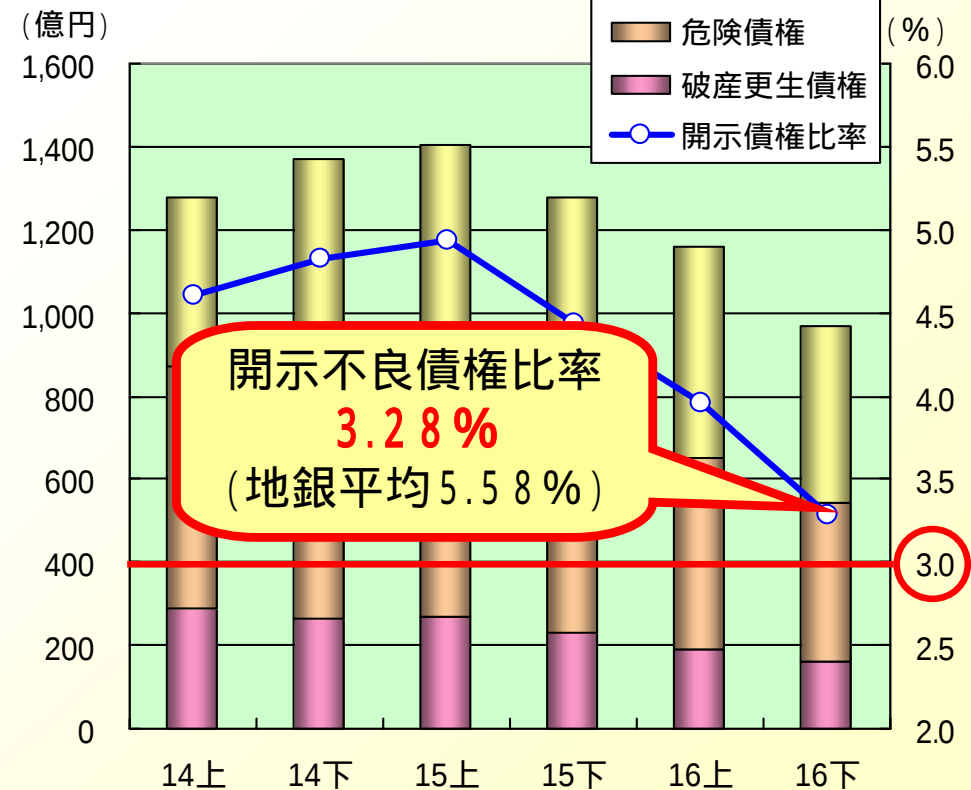
残高は前年度比 302 億円減少、比率は 3 % 前半まで低下

< 金融再生法開示債権の状況 >

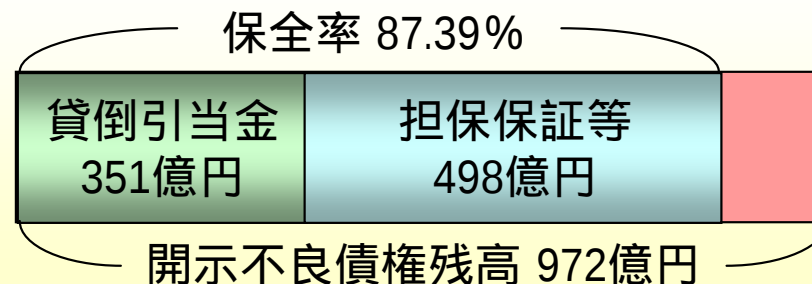
(平成17年3月末)



< 開示債権額・比率推移 >



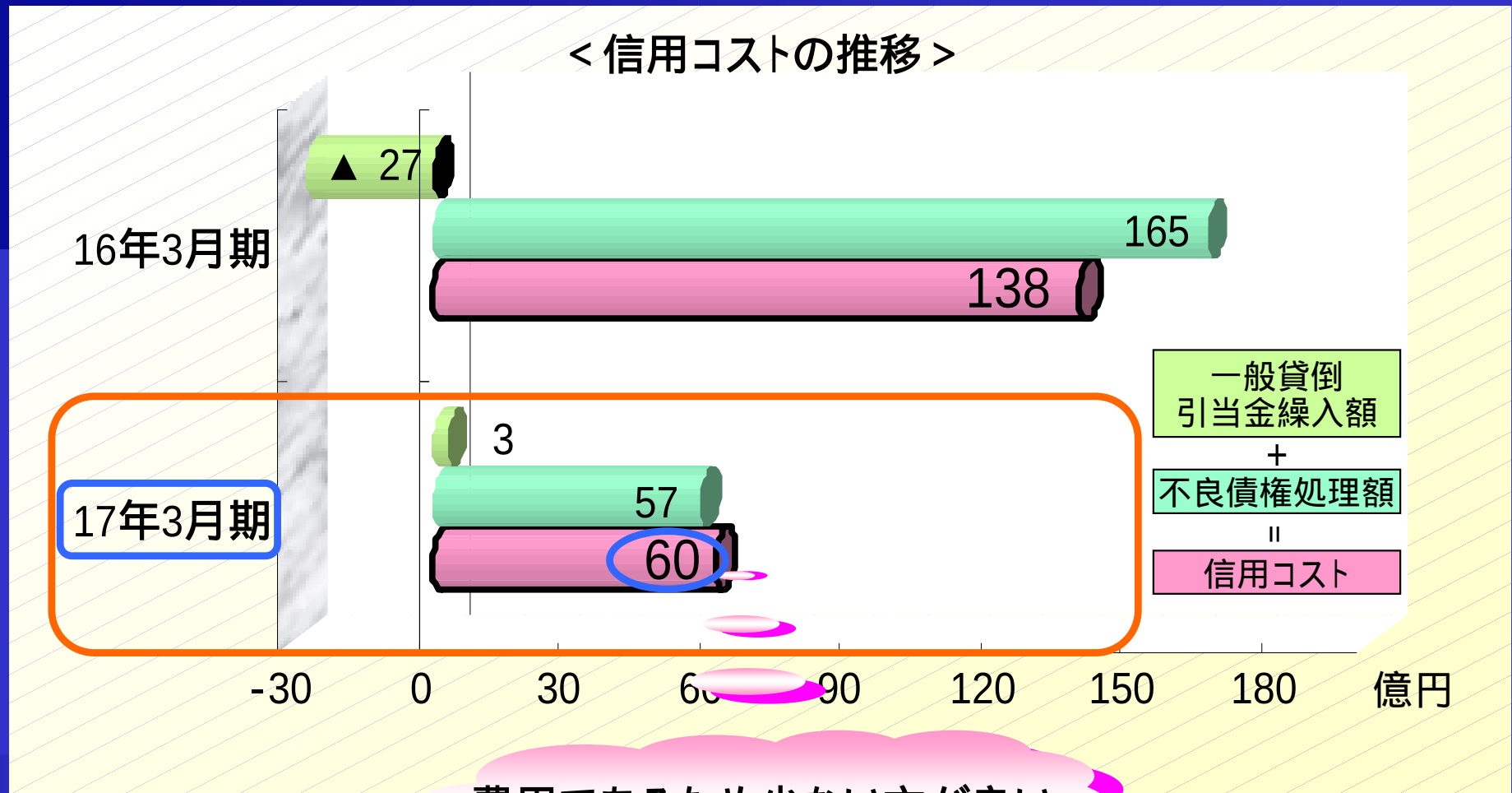
< 開示不良債権に対する保全率 >



信用コストの状況

● 信用コストは大幅減少

信用コストとは・・・貸出の引当・償却等、不良債権処理に伴い発生する損失
(一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額)

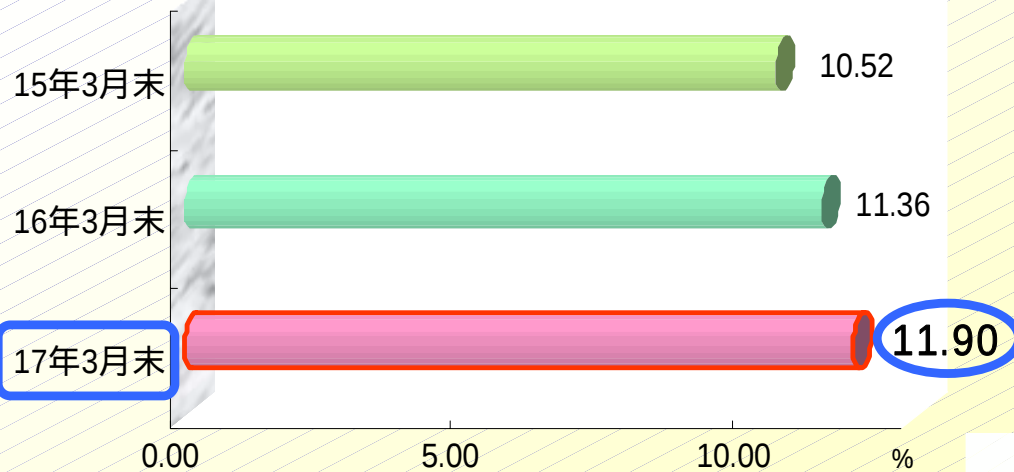


費用であるため少ない方がよい

自己資本比率(連結・国際統一基準)・ 有価証券評価損益(含み益)の推移

● 自己資本比率、含み益とも高水準を維持

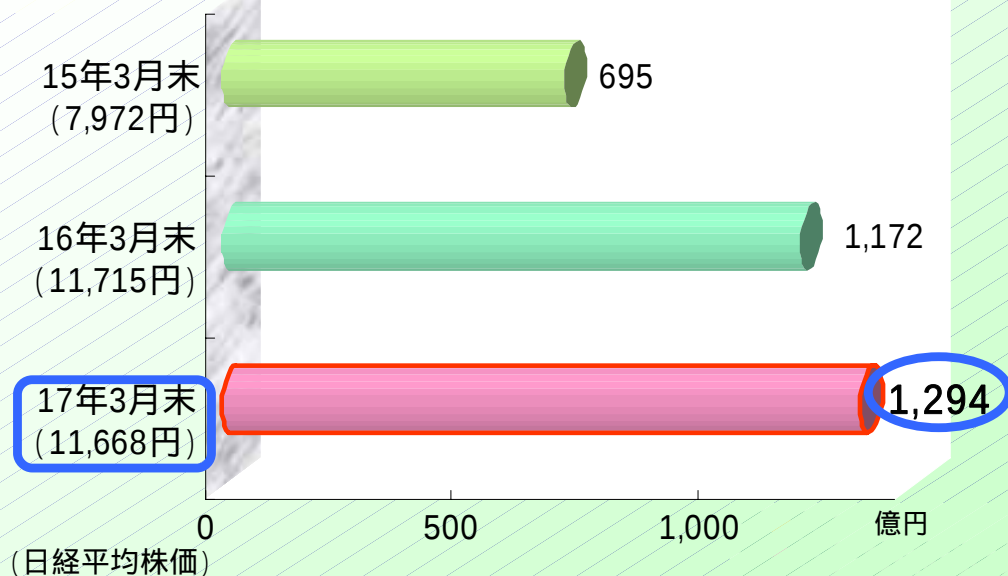
< 自己資本比率(連結ベース)の推移 >



国際基準の8%を大きく上回り
地銀64行中第10位

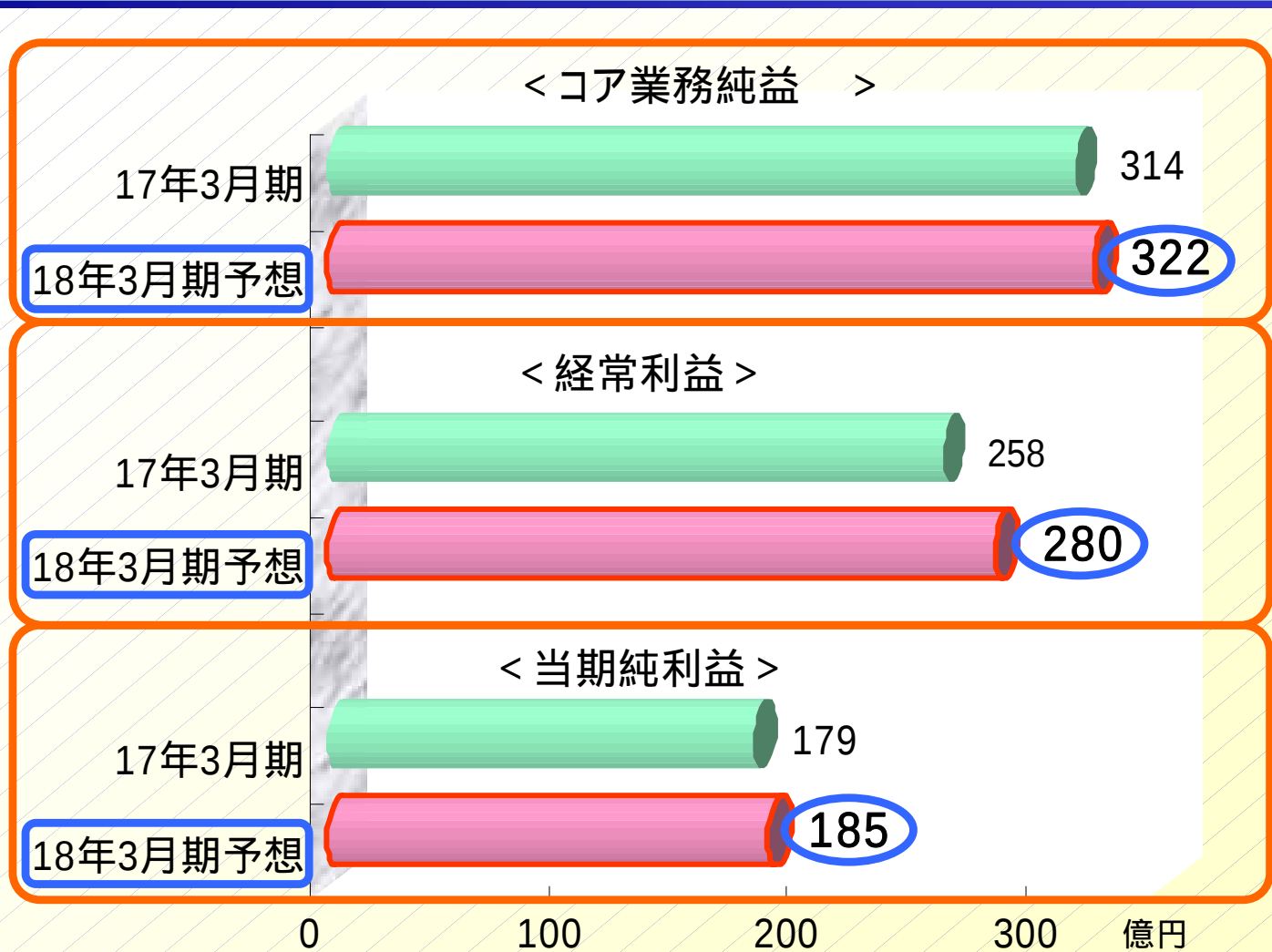
含み益は**地銀64行中第4位**

< 有価証券評価損益の推移 >



17年度業績予想

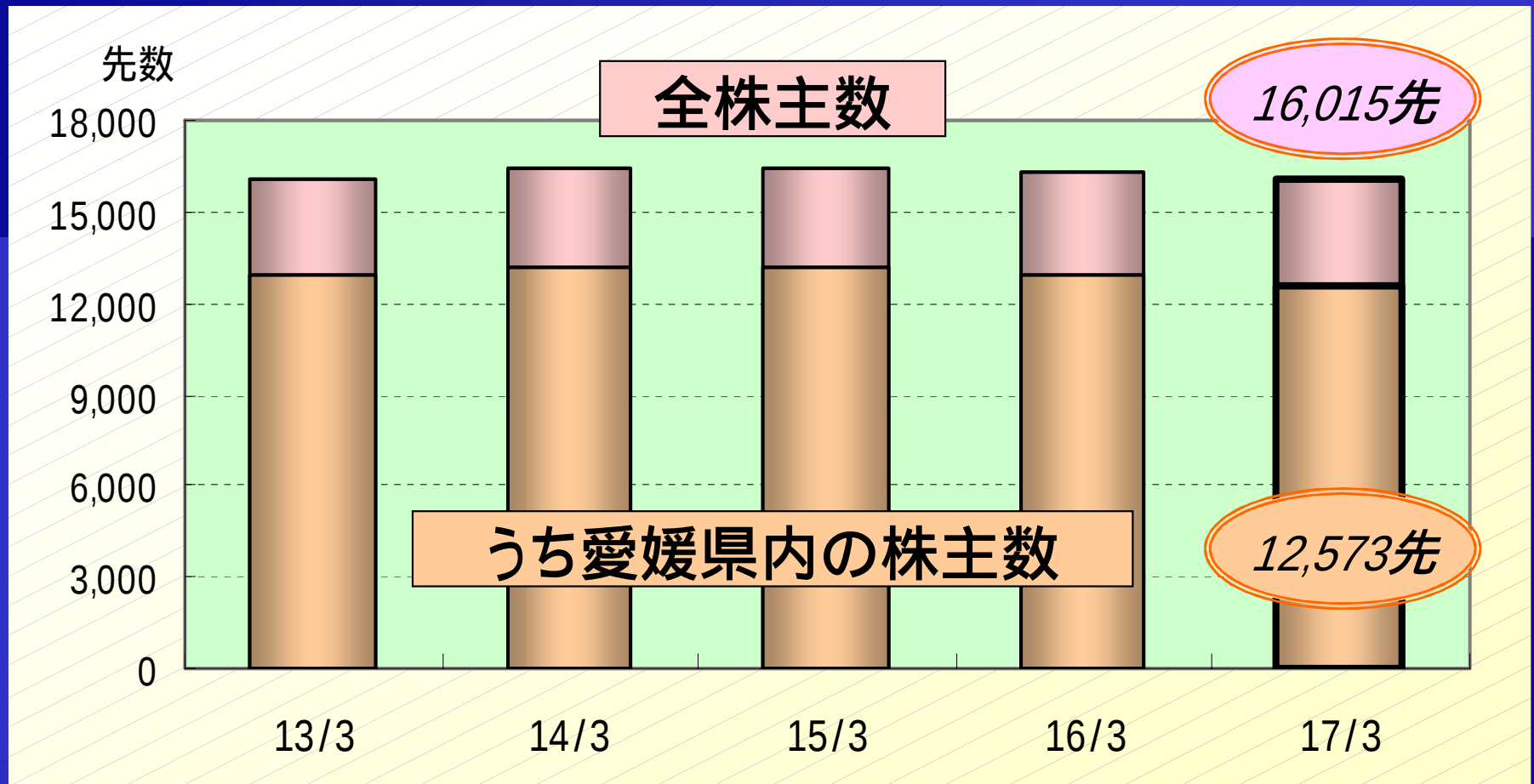
16年度に引き続き「増収・増益」を予想



〔 コア業務純益とは、業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、本来業務からの収益を表す 〕

株主さまの状況

● 約 8 割が愛媛県内の株主さま

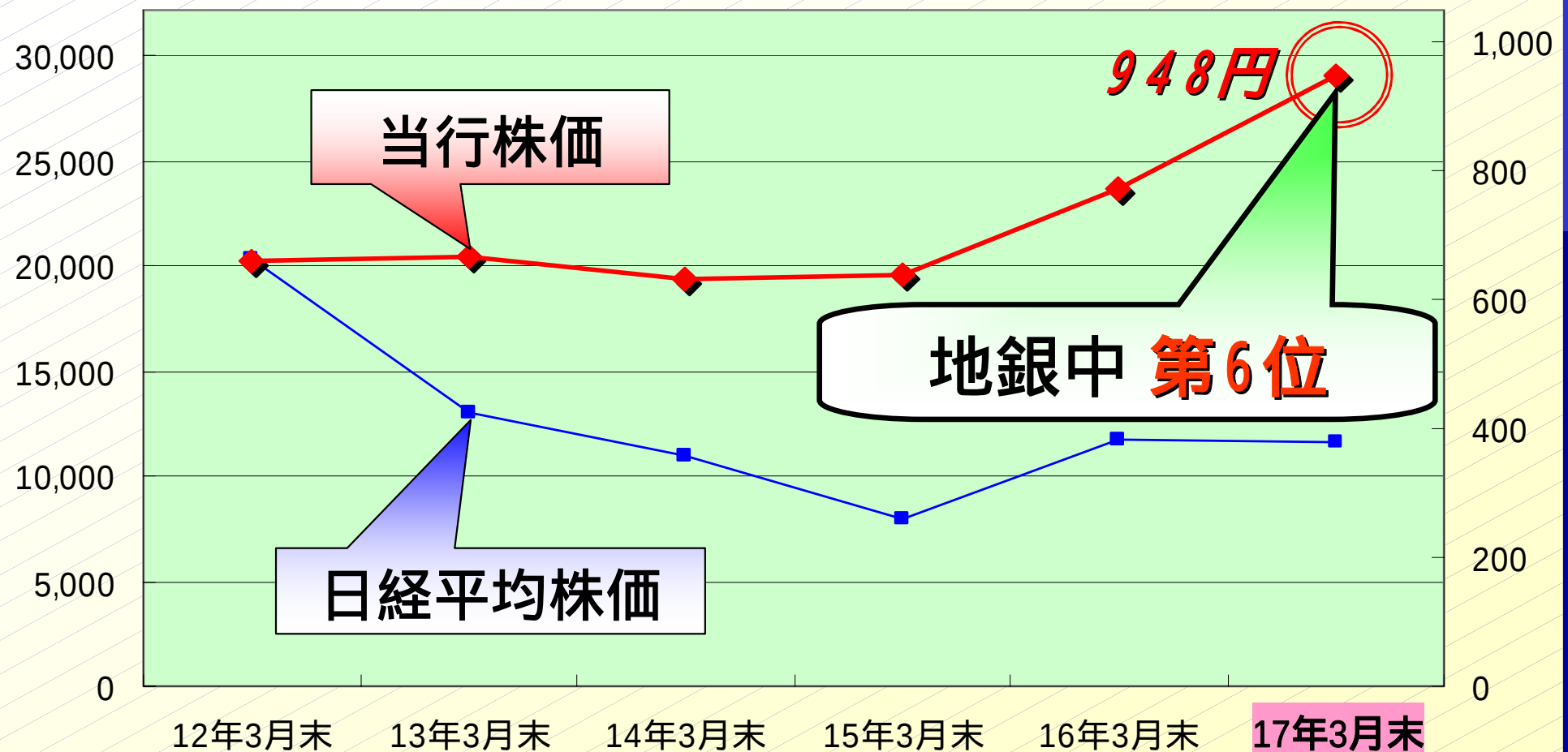


当行株価の推移 (平成12年～平成17年)

当行株価は堅調に推移

(日経平均:円)

(当行株価:円)



今後の経営の方向について



伊予銀行 企業理念

〔存在意義〕

潤いと活力ある地域の明日を創る

〔経営姿勢〕

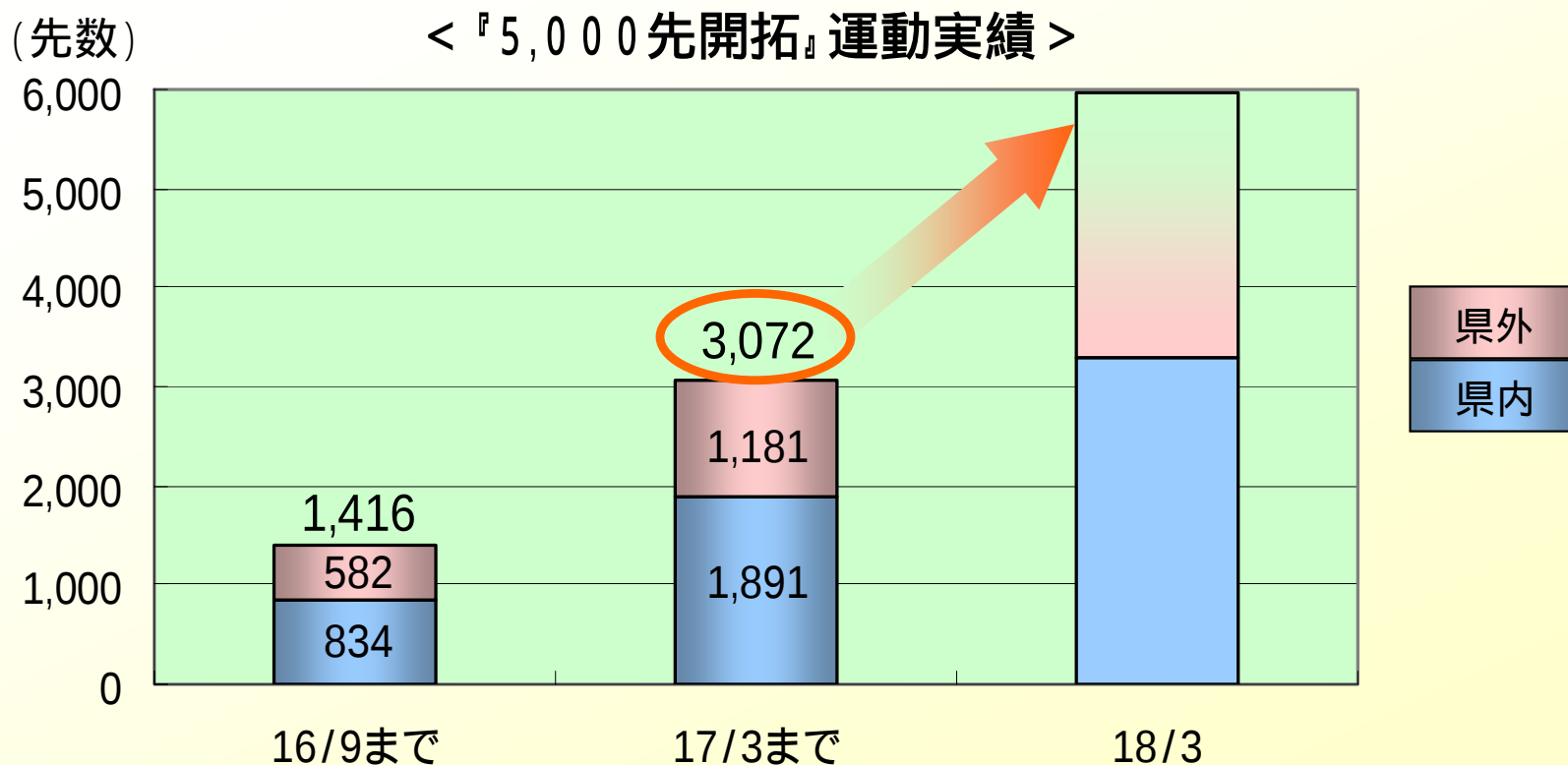
最適のサービスで信頼に応える

〔行動規範〕

感謝の心でベストをつくる

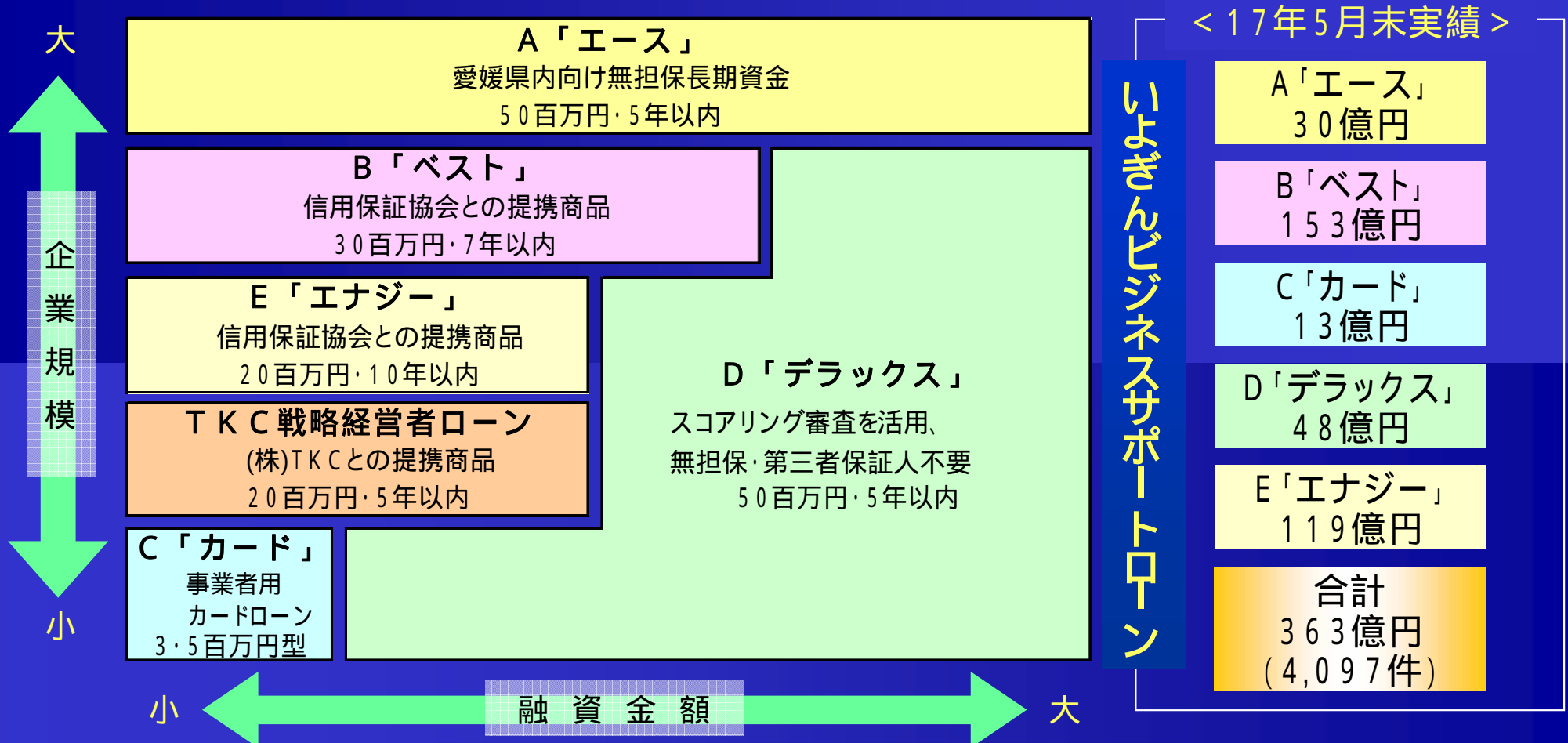
事業所の皆さまのお役に立つために

- より多くの事業所の方々とお取引いただくため、
新規融資事業所『5,000先開拓』運動を展開
(16～17年度)



事業所の皆さまのお役に立つために

充実したローン商品のラインアップ



17年4月～

「商工会議所メンバーズビジネスローン」
～ 商工会議所会員さまが対象～
「いよぎんアグリフィッシャーローン」
～ 農業・漁業を営む方が対象～

事業所の皆さまのお役に立つために

創業・新事業を積極的にご支援

○「いよベンチャーファンド1号 投資事業有限責任組合」設立

(15年7月、金額500百万円)

- ✓投資実績: 9社 250百万円
(17年5月末)

○「ニュービジネス支援会議」の 活動

- ✓企業育成・支援活動の取りまとめ
- ✓産・官・学のネットワークづくりの
中核を担う

○(財)えひめ産業振興財団との連携

(地域産業の高度化及び新事業創出等
の支援を行う愛媛県の外郭団体)

- ✓金融面での連携
～「いよぎんニュービジネスファンド」(ローン商品)
による新分野進出支援～
- ✓異業種交流会「フロンティア企業クラブ」主催の
「キャリアドベンチャー選手権」「ジュニアドベン
チャー選手権」でいよぎん賞を支給

事業所の皆さまのお役に立つために

経営のご相談・ご支援機能を強化

○ 医療・介護に対するご相談・ご支援

- ✓ 本部専門スタッフ2名配置
(17年2月に1名増員)
- ✓ 医院、調剤薬局、介護ビジネスの開業支援等を実施

○ ビジネス・マッチングへの取組み

- ✓ 行内LANを活用した仕組みを構築
(16年4月)
- ✓ 登録 439件 成約累計 91件
(17年4月末現在)

○ M & A 業務の推進

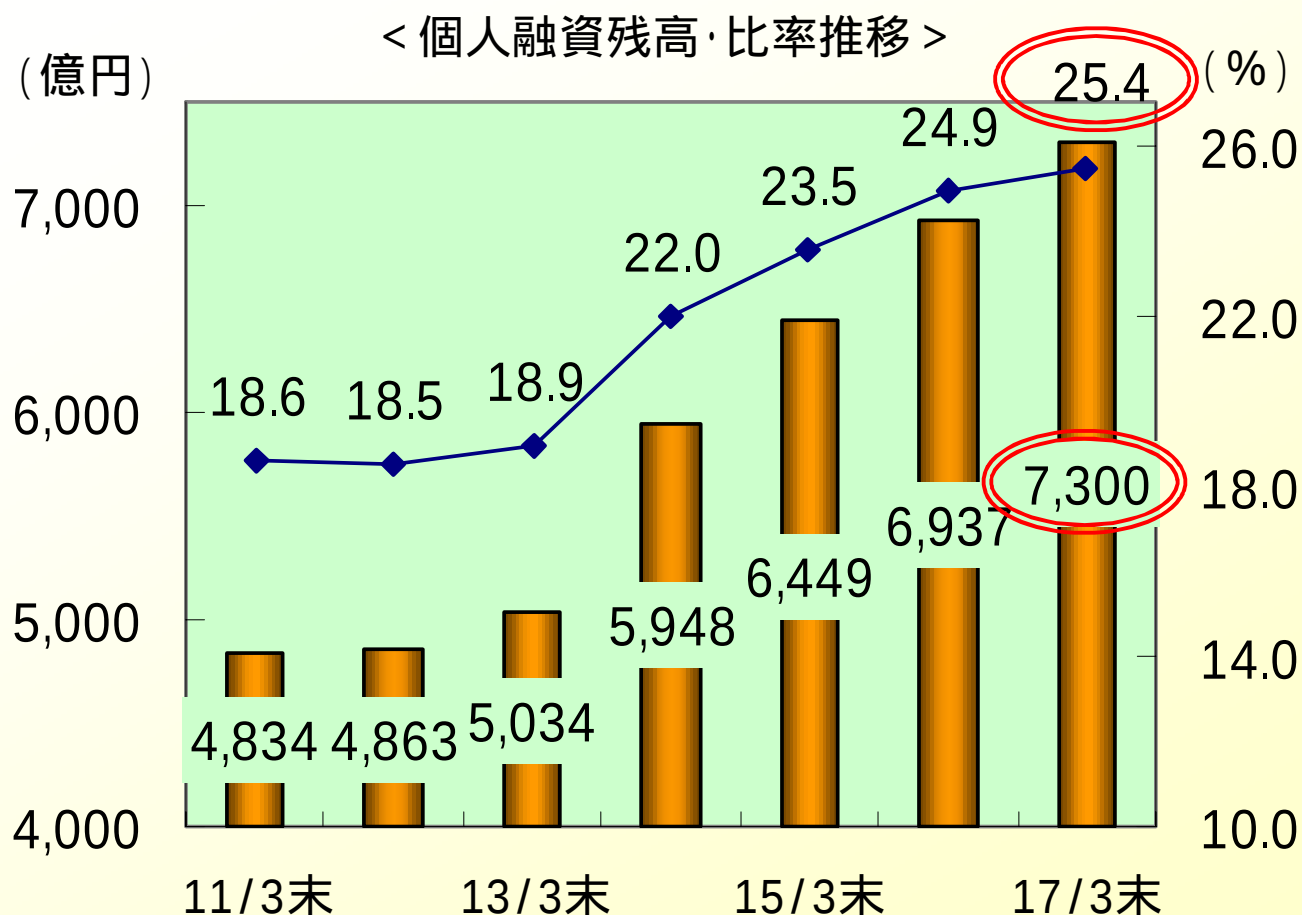
- ✓ 本部専門スタッフ2名配置
- ✓ 16年度中の成約件数 3件

○ 海外商談ミッション

- ✓ 広州交易会(中国)にH5年より参加
- ✓ 累計参加企業131先、
累計商談実績450百万円

個人の皆さまのお役に立つために

- 引き続き住宅ローンが順調に推移、
個人融資残高は7,300億円、個人融資比率は25.4%



個人の皆さまのお役に立つために <住宅ローン、カードローン>

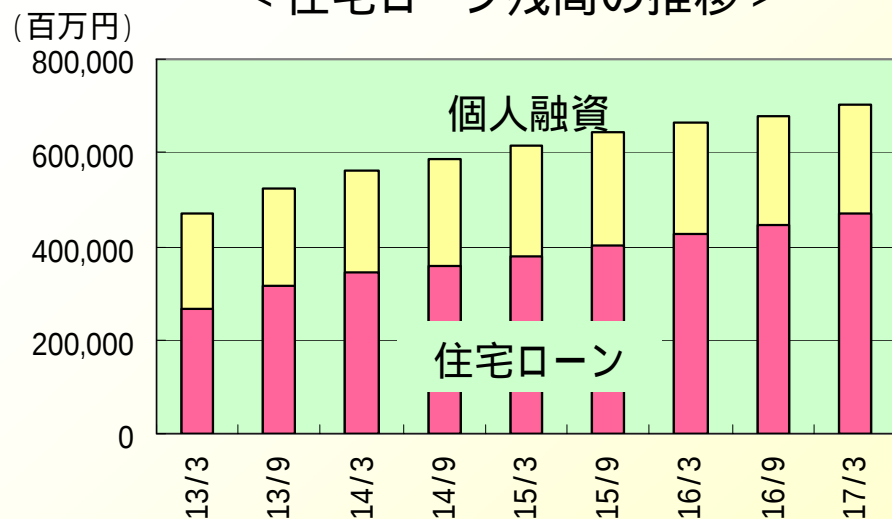
● よりご利用し易い体制を整備

「個人融資自動審査管理システム」の活用



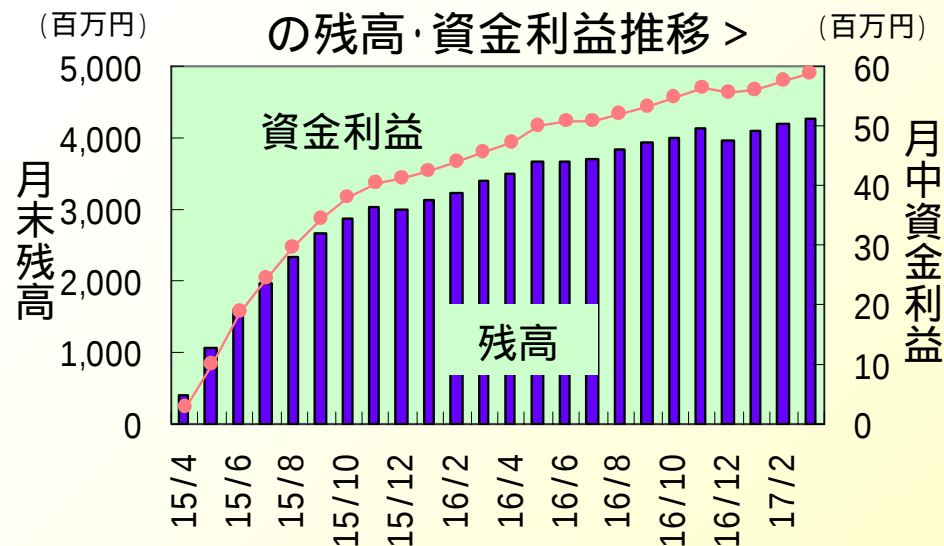
クイックレスポンス体制

<住宅ローン残高の推移>



- ✓ 新築案件を中心とした「住宅ローン」が増加
- ✓ 愛媛県全域をカバーする「ローンプラザ」(7か所で開設)
- ✓ 好評な事前審査申込制度

<さっと・ほっとカードローンの残高・資金利益推移>



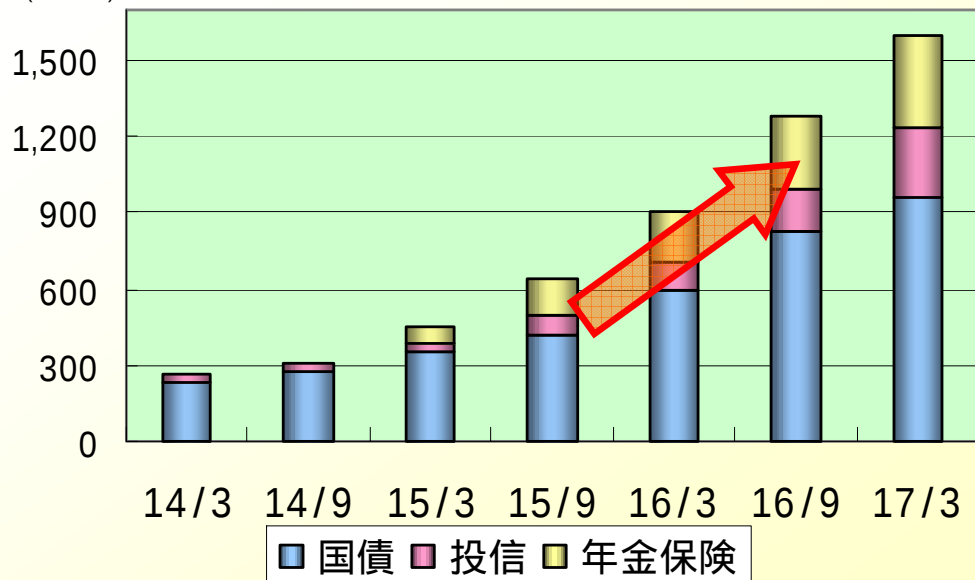
- ✓ 消費者金融会社・信販会社との保証提携ではなく「自行系保証会社の保証付商品」
- ✓ 当行独自の「審査モデル」構築

預り資産(国債・投資信託・年金保険)への取組み

- 預金低金利が続く中、より有利な商品をご提供
～ 投資信託 25 種類、年金保険 9 種類取扱い～
- 投信残高年間増加率 164.3% (10,628 百万円→28,095 百万円)
地銀 64 行中 第 4 位 (17 年 3 月)

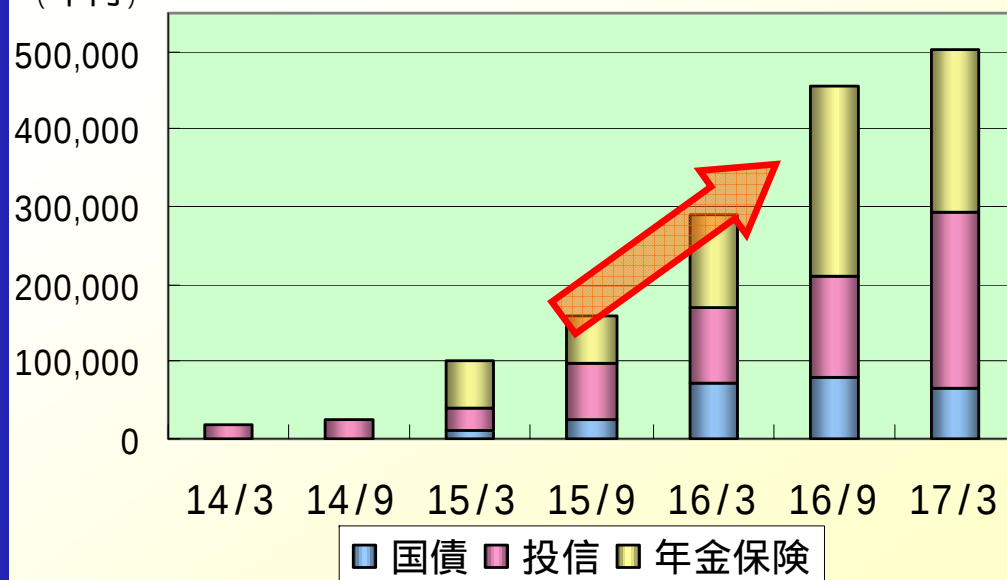
< 預り資産残高推移 >

(億円)



< 預り資産収益推移 >

(千円)



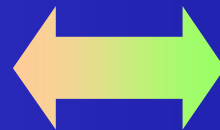
証券仲介業務への取組み 17年3月～

● お客様の利便性向上と多様化するニーズにお応えするため

証券仲介業務とは・・・証券会社からの委託を受け、株式や債券など
有価証券のお取引を証券会社に取り次ぐ業務

ワンストップショッピング
の実現

お客様の利便性向上



総合金融サービス
のご提供

多様化する資産運用
ニーズにお応え

取扱店は5か店

本店営業部
今治支店
新居浜支店
八幡浜支店
宇和島支店

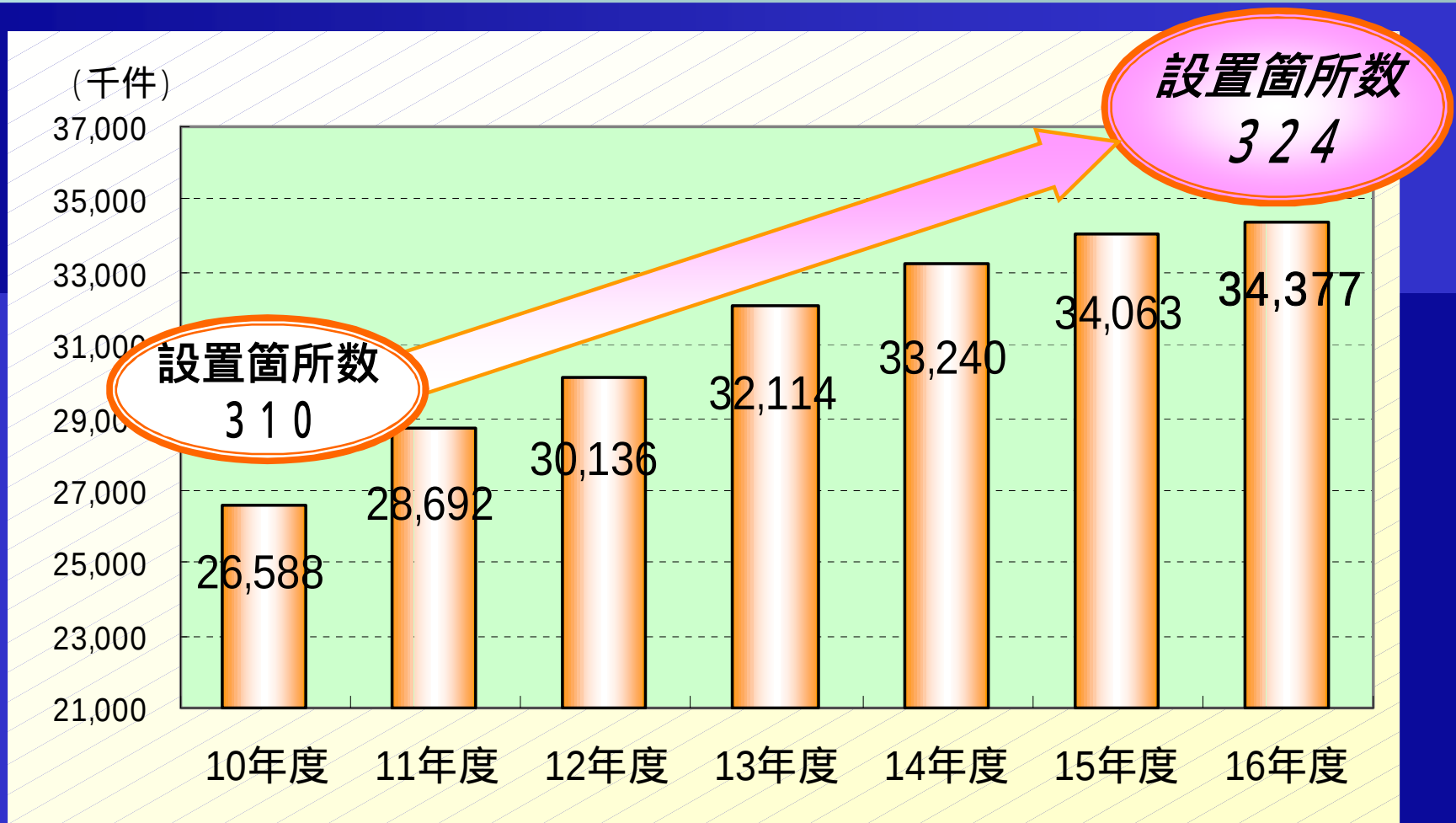
今後順次拡大予定



伊予銀行

愛媛県内キャッシュコーナーの 設置箇所数と利用件数

● 利便性向上のため、充実したキャッシュコーナー網を整備



郵貯ATMとの提携(14年1月~)

お客さまのご預金をお守りするために

カード暗証番号変更機能のATMへの搭載 12年12月～

遮光フィルターのATM・CDへの設置 16年7月～

カード暗証番号による窓口での本人確認開始 16年9月～

「おれおれ詐欺注意喚起メッセージ」のATMへの表示 16年10月～

1日あたりの「カードご利用限度額」の設定(200万円) 17年2月～

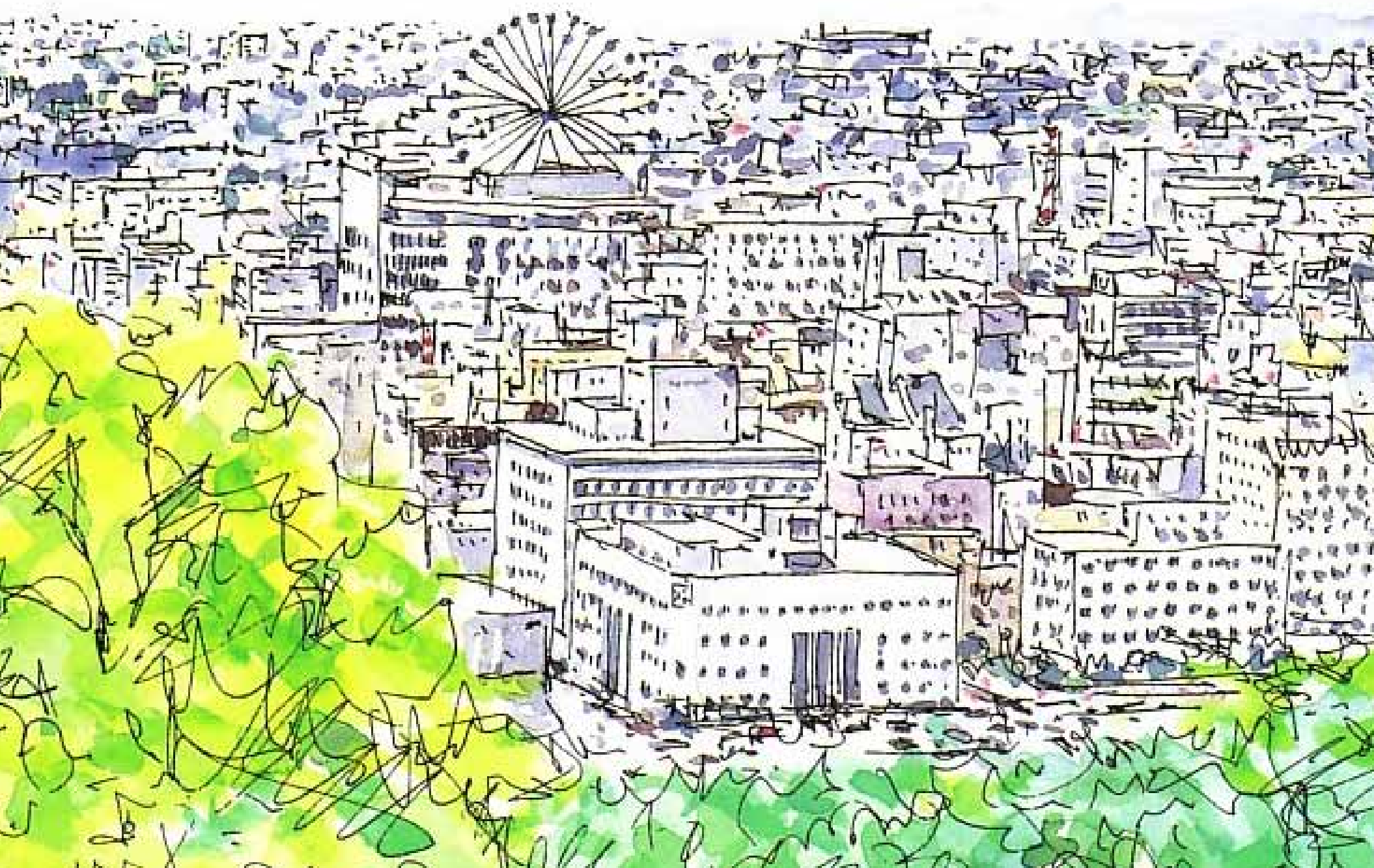
「カードご利用限度額」変更機能のATMへの搭載 17年4月～

地域の皆さまのお役に立つために

● 地域への感謝の心を胸に

項 目	内 容
地域文化活動助成制度(591先、総額1億円超)	草の根文化活動を資金面で支援する制度
IRCニュー・リーダー・セミナー(延べ632名受講)	若手経営者の育成、異業種交流
寄付講座開設	愛媛大学・松山大学に各50百万円寄付
伊予銀行社会福祉基金(基本財産5億円)	母子家庭への奨学金無償交付 等
男子テニス部・女子ソフトボール部の活動	日本リーグ・日本リーグ1部で活躍、「ふれあい教室」開催
特殊講義への講師派遣	IRCによる愛媛大学・松山大学への講師派遣
献血運動	創立記念日行事として毎年実施
「小さな親切」の会	各種募金・支援の実施
クリーン大作戦	市民大清掃に毎年参加
点字カレンダーの寄贈	愛媛県視覚障害者協会へ毎年贈呈
ふれあい感謝バザー	毎年開催、売上金をまごころ銀行に寄付
合唱団の活動	「ふれあいコンサート」開催





当行が目指す銀行像

愛媛県、さらには瀬戸内圏域の
全ての方々にとって
『存在感NO.1』の地方銀行

今回のご説明における将来の業績につきましては、発表時現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の経営環境の変化等の様々な要因によって変動する可能性があります。